

FIELDFORCE

スイングスピードの数値化で

打撃レベルアップ

カウントアップ・カウントダウン機能付き



画期的!!

①バットを立てると「ピッ」と音が鳴り、測定可能な状態になる②普段使っているバットで、しっかりと振り抜いて測定しよう



今回、フィールドフォースが発売する「スイングスピードメーター FSM-600D」は3.5寸×7.5寸×2.5寸と、Mサイズの消しゴムほどの大きさ。これを付属のリングで、バットのテーパー部にくりつけられる手軽さだ。重さも電池込みで35g

バットのテーパー部にリングでくりつける
と、ほとんど気にならない。開発に当たっては国内計測機器メーカーと協同。計測には、スマートフォンや最新のゲームコントローラー、ドローンなどにも使用されている「加速度センサー」を用いている。「加速度センサー」を用いている「バットスイングにおける「遠心力」を測定、デジタル処理により、その強さをスピードを表すkm/hへと換算し、表示する仕組みとなっている。

使い方はモード1〜3の3種類がある。モード1ではスイングスピードと、振った回数をシンプルに表示。2にはカウントアップ、3はカウントダウンの機能があり、それぞれ目標の数値をセットすることができる。「100km/h以上で100スイング」などの目標に向かい、カウントしてくれるのだ。個人で目標を設定し、振り込むのもいいが、チームメイトや他チーム選手などと比較しながら使用するのも、モチベーションアップには有効だろう。値段も手ごろなので、ぜひ一人にひとつ、持っておきたい。



君は時速何km/h? 目標設定で濃い平日練習を



平日練習やろうぜ!

またしても、フィールドフォース（東京都足立区）から魅力的な打撃練習サポート製品が発売される。その名も「スイングスピードメーター」。自分のスイングスピードを手軽に計測できる機器の登場で、単調な素振りに、より高い目的意識を持って取り組むことができるはずだ。

野球経験者なら誰しも、自分のスイングスピードが気になったことはあるのではないだろうか？ たえばバットを軽くすれば当然、スピードが上がるなど、投手の球速ほど絶対的な数値ではないが、自分のスイングスピードを知っておく意義は小さくない。現状での自分のレベ



ルを客観的な数値で把握できることはもちろん、目標値を明確にできれば、地味で苦しい日々の素振りに、より高いモチベーションを持って取り組むことができるはずだ。これまでももちろん、スイングスピードを測る機器や方法はあったが、大がかりだったり、高価だったり、個人で試すには少々、敷居が高かったのが現実だった。

■スイングスピードメーター FSM-600D
▽サイズ 幅3.5寸×長さ7.5寸×厚さ2.5寸
▽重さ 35g (電池込み) △電源 タン電池CR2032 ×2個
▽価格 5500円 (税抜き)

フィールドフォースの公式HPはこちら



フィールドフォース 検索
お問い合わせ 03-6404-8555